



中津川のサケを地域の資源に ～第2回ワークショップを開催します～

中津川に遡上するサケを資源としたまちおこしの取り組みとして、サケを題材とした広報ツールの作成に向けたワークショップを、下記のとおり開催します。

このワークショップは、平成28年11月24日に第1回目開催し、今回が2回目の開催となります。

1回目の開催には、30名の方にご参加いただき、目的や読者像、掲載内容等について話し合いを行いました。

今回は、第1回の結果を踏まえ、掲載内容の詳細や体裁、タイトル等について話し合う予定です。

ワークショップは、前回参加者を中心に、地域で活動されている方などへの呼びかけにより実施します。

1) 実施日時

平成29年 1月24日(火) 13時30分～16時30分

2) 実施場所

盛岡市中央公民館 大会議室(盛岡市愛宕町14-1)

3) 実施内容

- ・ 広報ツール作成に向けた意見交換

《発表記者会：岩手県政記者クラブ》

<問い合わせ先>

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所

副所長(河川) みうら よしあき
三浦 義昭

工務第一課長 としかわ みつる
樋川 満

〒020-0066 岩手県盛岡市上田四丁目2-2

TEL (代表) 019-624-3131 (工務第一課直通) 019-624-3198

《第1回ワークショップの様子》



第1回ワークショップで決まったこと

項目	内容
作成目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校の総合学習などで活用 ・ 一般市民や観光客向けにも活用
想定する読者像	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校高学年程度を対象 ・ 児童の親や観光客等にも使用できるもの
掲載内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ サケの種類 ・ オス・メスの見分け方 ・ 産卵場の見分け方 ・ サケの一生 ・ 生命のつながり（食物連鎖） ・ 中津川の歴史（サケとの関わり） ・ その他



中津川に遡上してきたサケ



橋の上からサケの姿を覗きこむ人々



サケの稚魚放流の様子